

行雲流水

No. 8 1 令和3年7月28日発行

みんなが応援したくなる選手・チーム

校長 寒河江 正人

10競技、総勢91名が出場した県中総体が幕を閉じた。

生徒諸君、猛暑の中の激闘・連戦、おつかれさま。

実に**6競技、51名**が東北大会へと駒を進める大躍進であった。

ご指導、ご支援いただきました本校教職員、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

中でも、野球・サッカー、そろっての**県制覇**達成！おめでとう！！

君たちのこの活躍は、本校の生徒に大きな**感動と自信**をもたらした。

そして、北村山地区の仲間たちに**勇気**を与えた。

昨日、校長室で野球部・サッカー部の代表生徒と話をした。

野球部主将の三村寿行くんは「**粘り強さの重要性を学んだ**」と語った。

サッカー部主将の小関健矢くんは「**最後まであきらめないことの大切さ**」を語った。

簡単な試合は一つもなかった。

自分を信じ、仲間を信じ、一つ一つのプレイを大切にするのみ。

その延長線上にこそ、「**勝利への道**」は開ける。

「**勝っておごらず、負けてくさらず。**」

「**謙虚に、支えてくれた周囲への感謝を忘れない。**」

今回の経験を通して、自分は**何を学んだ**のか。**どんな成長ができた**のか。これが大切。

また、「**ぎりぎりのせめぎ合い**」で競り勝てたのは、日頃の「**あいさつ運動**」や「**地域でのボランティア活動**」を地道に積み上げてきた**自信**が支えてくれたのかもしれない、だから、**勝利の神様が微笑んでくれた**のかもしれない、と語ってくれた。

周囲のみんなが応援したくなる選手・チームづくりをめざすことが大切なのだ。

さあ、今週末から**東北中学総体**が開幕する。

本校の代表として、**山形県の代表**として、思う存分、暴れまわってこい！

本校選手団の健闘を祈る！！